

連番ドア用ロック機構の組立て方法

Cat. No. 1494F

インストラクションシート

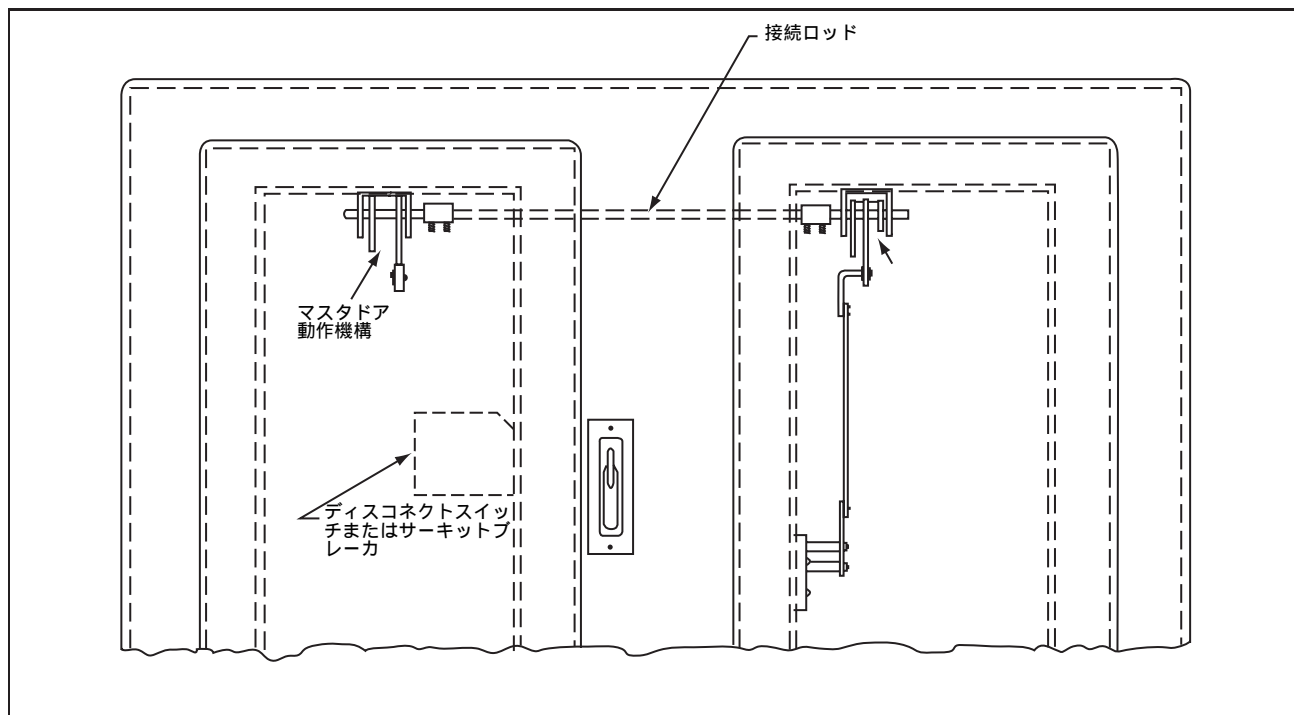


図 1

連番ドアインタロック機構キットは、NEMA タイプ 1 とタイプ 12 エンクロージャ用のマスタドアと共に、補助ドアのインタロックする Cat. No. 1494F-L4, 1494F-LL4, 1494V-L3, および 1494V-LL3 ドア機構キットと共に使用されます。

マスタと補助インタロックキットの取付けには、2つの方法を使用できます。特定の条件に従って、使用する方法を決定します。

組立て方法 No.1 を使用する：通常のすべての取付け

組立て方法 No.2 を使用する：上図に示すようにマスタキットと補助キット間の接続ロッドがディスコネクトスイッチまたはサーキットブレーカを横切っていて、および以下の条件の1つが存在する場合のみ

- 『Circuit Breaker Operator Installation Instructions』(Pub. No. 1494D-5.0) の 1 ページに記載した寸法 “E” は、定格 15 ~ 70A のデバイスの場合は 4-3/8 インチ (111) 未満になります。

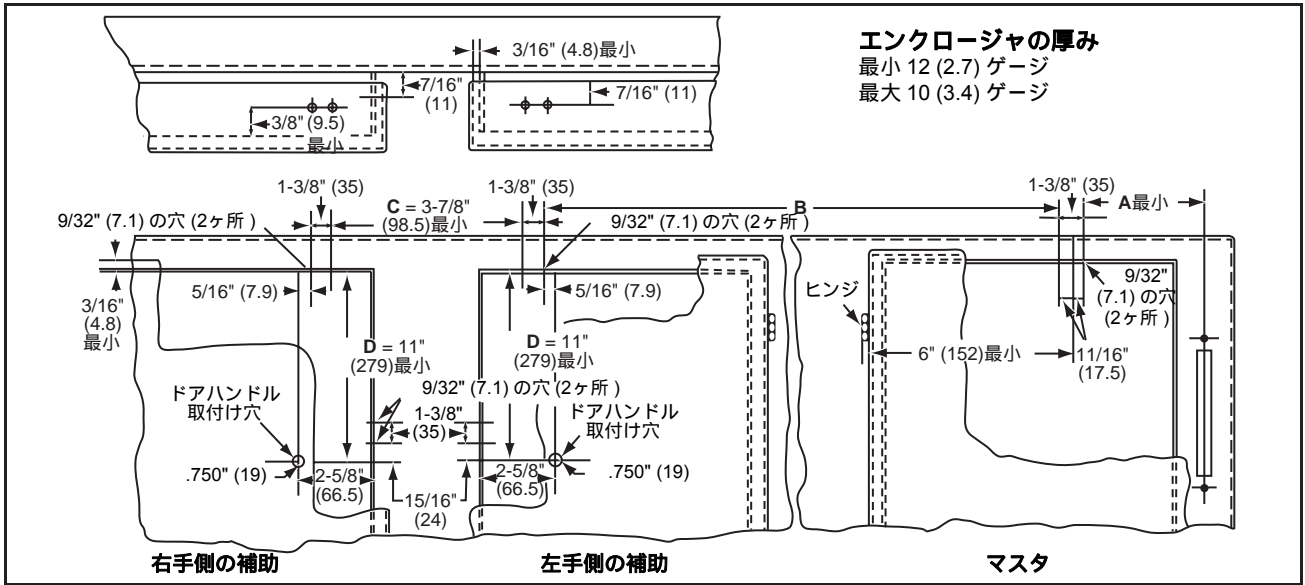
- 『Flange Mounted Disconnect Switch Installation Instructions』(Pub. No. 1494F-5.0, 1494M-800, および 1494M-801) の 1 ページに記載した寸法 “S” は、30A&60A デバイスの場合は 4-3/8 インチ (111) 未満で、100A デバイスの場合は 6 インチ (152) 未満になります。
- 『Circuit Breaker Operator Installation Instructions』(Pub. No. 1494V-5.05) の 1 ページに記載した寸法 “C” は、定格 15 ~ 70A のデバイスの場合は 5-1/2 インチ (140) 未満になります。または
- 『Disconnect Switch Installation Instructions』(Pub. No. 1494V-5.0) の 1 ページに記載した寸法 “C” は、30A&60A デバイスの場合は 5-1/2 インチ (140) 未満になります。

注：組立て方法 No.2 の目的は、接続ロッドを上を移動して、ディスコネクトスイッチまたはサーキットブレーカとの間の電気的な間隔をより大きくすることにあります。

組立て方法を決定する際には、マスタキットと補助キットの両方に同じ方法を使用する必要があります。

注：括弧 () 内に示す寸法は、mm 単位です。

エンクロージャの構造



エンクロージャの厚み
 最小 12 (2.7) ゲージ
 最大 10 (3.4) ゲージ

図 2

寸法“A”の最小値

ディスコネクトスイッチ	寸法 A 1494F と 1494V	サーキットブレーカ		寸法 A	
		タイプ	フレームサイズ	1494D	1494V
30A	8-3/4 (222)	Westing-house	EHD, FD, FDB, FDC, HFD, HMCP	7-1/4 (184)	8-5/8 (219)
60A	8-3/4 (222)		JD, JDB, JDC, HJD, HMCP	7-1/2 (191)	9 (229)
100A	9-1/4 (244)	補助マスタ	KD, KDB, KDC, HKD, HMCP	8-1/2 (216)	10-3/8 (264)
200A	12-1/2 (318) ¹				

¹ Bulletin 1494F にのみ適用します。

注：上図では、右手マスタ取付けを説明しています。左手マスタの取付けは、右手側の取付けとは逆向きになります。

上図に、1つのマスタキットと2つの補助キット付きの標準的なマスタ補助取付けを示します。最大10の補助キットを1つのマスタに使用できます。寸法が伸びるだけです。さらに、これらのキットの場所または位置は任意の順序で配置できるため、マスタキットは、補助キットの間または補助キットの左におくことができます。また、補助キットは、すべて右手や左手側の取付けにすることも、両方のタイプを任意に組合せて取付けることができます。

エンクロージャでの作業

注意：すべての補助エンクロージャドアに取付けられるドア・ハンドル・キットには、Cat. No. 1494F-L4, 1494F-LL4, 1494V-L3, および 1494V-LL3 に使用されているのとわずかに異なる穴あけパターンが必要になります。0.750 (19) のドアハンドル取付け穴から 2-5/8 インチ (66.5) 上にある 0.406 (10.3) の穴は、必要ありません。また、ディスコネクトスイッチまたはサーキットブレーカを取付けていない場所では延長作動レバーを取付ける必要がないため、2つのねじ用の穴を上部ロッキングバーに追加する必要はありません。さらに、ドアキャッチを取付ける必要もありません。ドアキャッチと延長作動レバー、およびこれらの部品に取付けるねじは処分できます。

1. 図 2 に示すように、マスタ・インタロック・キット用にエンクロージャの上側フランジの取付け穴をあけます。

注：マスタキットは、ディスコネクトスイッチまたはサーキットブレーカがあるドアの開口部に常に固定されています。

2. 図 2 に示すように、補助キット用にエンクロージャの上側フランジの縁と側面フランジの縁の取付け穴をあけます。

接続ロッドでの作業

1. 寸法“B”を測定して 1-11/16 インチ (43) を引いて、マスタキットから補助キットまでの接続ロッドの長さを求めます。サイズに合わせて切断します。

注：3/8 インチ (9.5) 角ロッドは、これらのキットには付属していません。

2. 寸法“C”を測定して 1-11/16 インチ (43) を引いて、マスタキットから補助キットまでの接続ロッドの長さを求めます。サイズに合わせて切断します。

注：3/8 インチ (9.5) 角ロッドは、これらのキットには付属していません。

吊り上げロッドでの作業

1. 寸法“D”を測定して以下を行なって、上部補助機構から下部補助機構までの吊り上げロッドの長さを求めます。

- A. 組立て方法 No. 1 の使用時は、8-7/8 インチ (225) を引きします。
- B. 組立て方法 No. 2 の使用時は、7-3/4 インチ (197) を引きします。

2. ロッドをサイズに合わせて切断します。

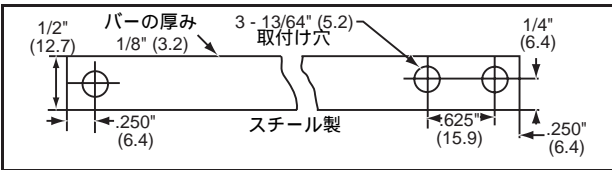


図 3

3. 上図に示すように穴の場所を決めて、あけます。
注：標準的な長方形の吊り上げロッドは、これらの機構には付属していません。

注：括弧 () 内に示す寸法は、mm 単位です。

組立て方法 No.1

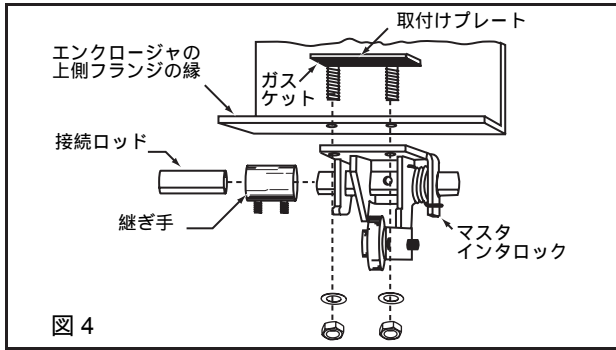


図 4

マスタインタロックの取付け

1. 取付けプレートからナットとワッシャを外します。
2. 左図に示すように、取付けプレートのスタッドをエンクロージャの上側フランジの縁とマスタインタロックの穴から通して、機構をフランジに固定します。
3. 図に示すように、継ぎ手をマスタインタロックに取付けます。

注：マスタインタロック機構は、エンクロージャ側のフランジの縁と正確に直角にする必要があります。そうでない場合は、ドアとフランジ、キットの挟まりが起ることがあります。

補助キットの取付け

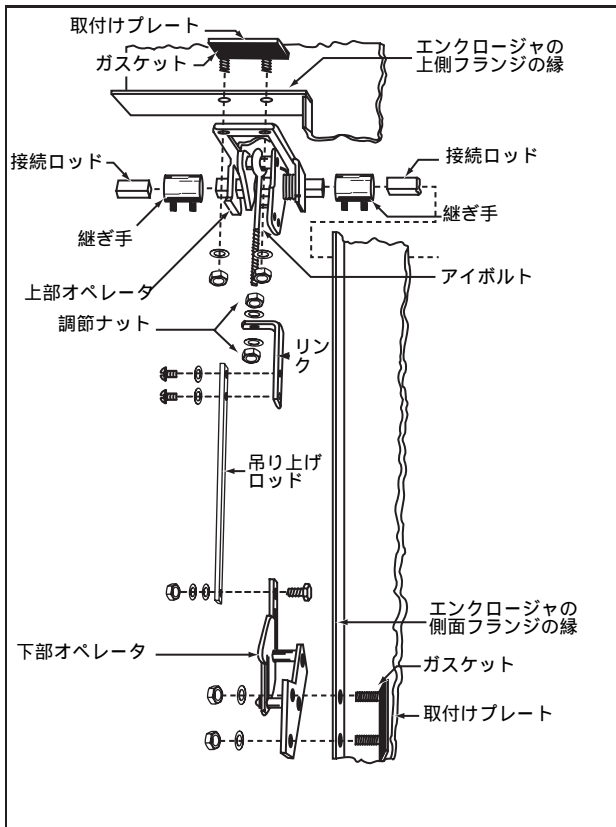


図 5 右手側の補助

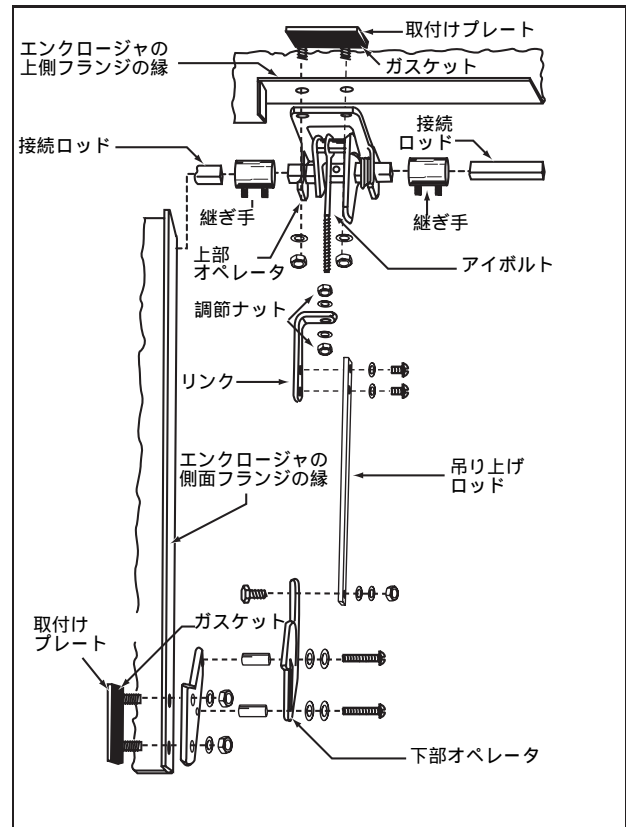


図 6 左手側の補助

上部オペレータ機構

1. 上部オペレータ取付けプレートからナットとワッシャを外します。
2. 図5または図6に示すように取付けプレートのスタッドをエンクロージャの上側フランジの縁と上部オペレータの穴に通して、ナットを4.5 ~ 5.7 Nmのトルクで締めて機構をフランジに固定します。

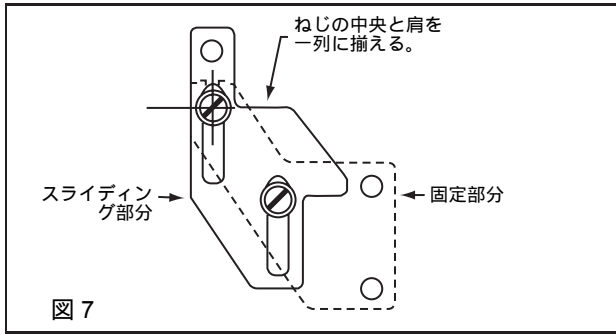
注：上部オペレータ機構は、エンクロージャ側のフランジの縁と正確に直角にする必要があります。そうでない場合は、ドアとフランジ、キットの挟まりが起ることがあります。

3. 上図に示すように、マスタと補助キット間に接続ロッドを固定します。カップリングねじを、2.7 ~ 3.6 Nmのトルクで締めます。

下部オペレータ機構

1. 側面取付けプレートからナットとワッシャを外します。
2. 左手側補助キットのみ：図6に示すように、下部オペレータを分解して、再度組立てます。ねじを、2.7 ~ 3.6 Nmのトルクで締めます。
3. 上図に示すように、取付けプレートのスタッドをエンクロージャの側面フランジの縁と補助キット下部オペレータ機構の穴に通して、ナットを4.5 ~ 5.7 Nmのトルクで締めてフランジに固定します。
4. 上図に示すように、吊り上げロッドを上部と下部補助キットオペレータに取付けます。このとき、リンクに接続するために使用する肩付きねじを2.7 ~ 3.6 Nmのトルクで締めます。

吊り上げロッドの調整



マスタドアが閉じて、ドア・ハンドル・キットが補助ドアに取付けられている場合は、以下の手順を行ってください。

1. 上部オペレータのアイボルトにあるナット (図5または図6を参照) を移動して調整し、下部オペレータの固定部分にあるねじ山の中央と、下部オペレータのスライディング

部分の肩の位置を揃えます (図7を参照)。ナットを、2.5 ~ 3.4 Nm のトルクで締めます。

2. 補助ドアを閉じます。

注: マスタドアが閉まっているときは、補助ドアを開いてはなりません。

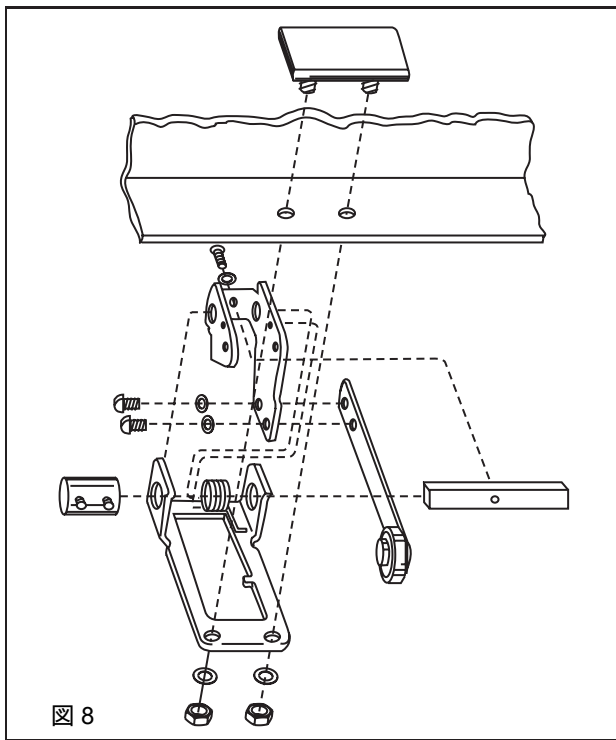
3. マスタドアを開けると、補助ドアが開こうとします。補助ドアが開いているときは、機構が正しく動作します。

注: 補助ドアを開くときに問題が起こる場合は、上部オペレータのアイボルトにある調整ナットをわずかにまわす必要があります。ナットを緩めてから、2.5 ~ 3.4 Nm のトルクで再度締めます。

4. マスタドアを閉じて、適切な動作ができるようになるまでステップ2と3を繰り返します。

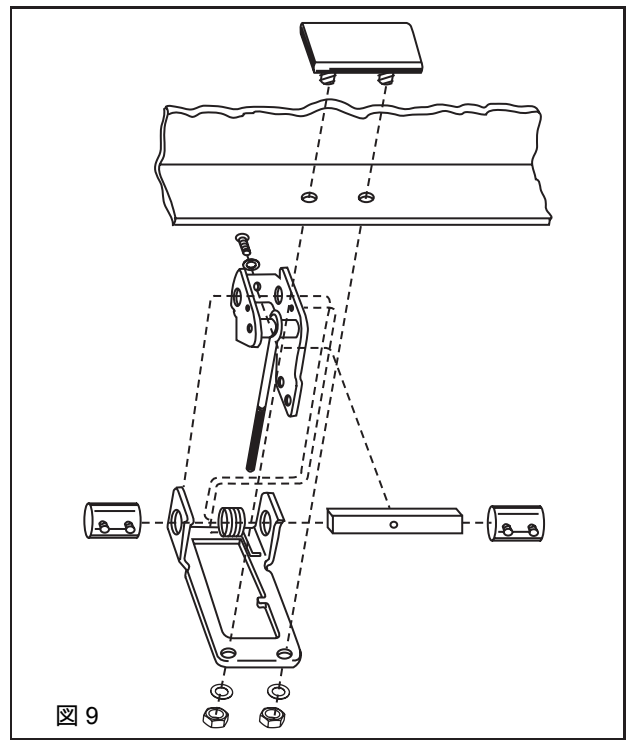
5. 調節が完了したら、2.5 ~ 3.4 Nm のトルクでナットを締めます。

組立て方法 No.2



マスタインタロックの取付け

1. 上図に示すように、マスタインタロックを分解してから、再度組立てます。No. 10 ねじを、2.5 ~ 3.6 Nm のトルクで締めます。
2. 3 ページに記載したマスタインタロックの取付けの手順を行いません。



補助キットの取付け

上部オペレータ機構

1. 上図に示すように、上部オペレータ機構を分解してから、再度組立てます。No. 10 ねじを、2.5 ~ 3.6 Nm のトルクで締めます。
2. 3 ページに記載した上部オペレータ機構の手順を行いません。

下部オペレータ機構

1. 3 ページに記載した下部オペレータ機構の手順を行いません。

吊り上げロッドの調整

1. 上に記載した吊り上げロッドの調節手順を行いません。

www.rockwellautomation.com

Corporate Headquarters

Rockwell Automation, 777 East Wisconsin Avenue, Suite 1400, Milwaukee, WI, 53202-5302 USA, Tel: (1) 414.212.5200, Fax: (1) 414.212.5201

Headquarters for Allen-Bradley Products, Rockwell Software Products and Global Manufacturing Solutions

Americas: Rockwell Automation, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204-2496 USA, Tel: (1) 414.382.2000, Fax: (1) 414.382.4444

Europe: Rockwell Automation SA/NV, Vorstlaan/Boulevard du Souverain 36-BP 3A/B, 1170 Brussels, Belgium, Tel: (32) 2 663 0600, Fax: (32) 2 663 0640

Asia Pacific: Rockwell Automation, 27/F Citicorp Centre, 18 Whitfield Road, Causeway Bay, Hong Kong, Tel: (852) 2887 4788, Fax: (852) 2508 1846

Publication Number 1494F-5.2JA – November 2002

Supersedes Publication 1494F-5.1 - March 1977

©Copyright 2002 Rockwell International Corporation. Printed in USA